

いと思うからだそうです。今の日本が抱える最大の問題の一つである「少子高齢化」と大きく関わりがあることを教えてもらいました。現在のつぼ型人工ピラミッドの少ない若者たちだが、多くの高齢者を支えるのは困難だということです。

私はこの二つの考えを知り、税は未来と自分たちの暮らしに反映する大切な「支え」だと認識しました。

私たち未成年者に身近な消費税の他にも、まだまだいろいろな税があるそうです。税があることで、私たちが通う学校が建てられ、義務教育が受けられること。市・県・国の行政が成り立っていて、公務員である父も税金から給料をもらっていること。まだまだ税は、多様に形を変えて、私たちの生活に役立っていることを知りました。

私は勝山からえちぜん鉄道を利用して福井市の学校に通っています。その定期券を購入する際にも勝山市から補助金を受けています。

そのお金も市民の方々からの税金です。昨年
えちぜん鉄道について取材した際にも、地域
・行政が協力して交通弱者の方々の為に、鉄
道再生を行っていることを学びました。これ
も税金の活用です。そう考えると、税は「支
え」というだけでなく、全ての人の「助け」
であるという認識も持てるようになりました
今の私が良い環境で暮らしていただけるのは
現在の社会のおかげです。税の使い道につい
て論争になることは重要な事だと思えます。
限られた税金を大切に使い、お年寄りから子
どもまでが安心して暮らせる社会を目指し、
持続可能な社会を形成していける努力を継続
しない限り、明るい未来はありません。次世
代の人たちがより良い社会で暮らせれるかど
うかは、私たち若い世代の力に懸かっています。
す。未来の社会の担い手の一人になれるよう
に、知識を増やし、納税の義務を理解して果
たせる人になっていきたいです。